

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和4年度 第2期（オンライン研修）
「指揮統制」コース

【各講義の内容と学習目標】

受講期間 オンデマンド：R5年1月23日（月）～2月12日（日）
リアルタイム：R5年2月8日（水）13:00～16:30

手法	No.	単元名	単元の概要	No.	時間		講師名	学 習 目 標
オンデマンド	1	指揮統制総論 （世界標準に則した指揮統制）	災害対策本部組織を統制していくための理論と基本構造を学ぶ。	1-1	59分		林 春男 （防災科学技術研究所）	<ul style="list-style-type: none"> 組織のリーダーが果たすべき責務を説明できる。 危機にあたって組織のリーダーが行う業務を説明できる。 効果的な危機対応のための対応手法を説明できる。
				1-2	62分	世界標準に則した災害対応体制の構築	林 春男 （防災科学技術研究所）	
	2	指揮統制の世界標準 （危機対応に必要となる役割（部門）と機能）	世界標準における危機対応組織の仕組みを学び、リーダーに求められる4つの役割を学ぶ。	2	49分		秋富 慎司 （伯鳳会）	<ul style="list-style-type: none"> 指揮者の機能と役割について説明できる。 事態対処の役割と機能について説明できる。 対策立案の機能と役割について説明できる。 後方支援の機能と役割について説明できる。 総務の機能と役割について説明できる。
	3	指揮統制の現状	大規模災害を経験したトップが指揮統制の本質を語る。	3	29分		松岡 隼人（熊本県人吉市） ※林 春男（解説）	<ul style="list-style-type: none"> 経験を基にした指揮統制の実態と考え方を説明できる。
	4	日本社会に適した指揮統制のあり方 （危機対応組織を動かす6つの視点と14の原則）	危機対応の世界標準に則して災害対策本部の統制のあり方を学ぶ。	4	60分		熊丸 由布治 （ベアーズプランニング）	<ul style="list-style-type: none"> 危機対応の世界標準について説明できる。 指揮統制を適用する場面について説明できる。 危機対応の6つの視点について説明できる。 教育・訓練の重要性について説明できる。
	5	リーダーシップのあり方	リーダーシップの考え方や指揮統制を行うための要求事項を学ぶ。	5	60分		林 春男 （防災科学技術研究所）	<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップの基本的な考え方を説明できる。 リーダーに求められる役割について説明できる。 災害対応時に求められるリーダー像を説明できる。
	6	参謀にとつての災害対策本部運営	危機対応組織の参謀がどのようにトップを補佐しながら災害対策本部を運営していくのかについて学ぶ。	6	62分		越野 修三 （岩手大学）	<ul style="list-style-type: none"> 危機対応の組織について説明できる。 参謀組織の構築について説明できる。 情報の処理と状況判断について説明できる。 部局横断的な実施体制の整備について説明できる。 指揮の実行について説明できる。
7	災害広報	地方公共団体の災害広報の事例を踏まえ、地方公共団体の長や幹部は、メディアを通して被災者等にどう向き合い、どう語るのかを学ぶ。	7-1	36分	行政の視点	高島 哲夫 （防災科学技術研究所）	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の行政機関による広報の内容・方法等を説明できる。 災害時の広報活動を適切に実施するための情報処理のポイントを説明できる。 記者会見の進行・運営における留意事項を説明できる。 	
			7-2	49分	メディアの視点	木戸 崇之 （エービーシー・リブラ）		
			7-3	8分	演習方法	辻岡 綾 （同志社大学）		
リアルタイム	演習	8	災害広報 （記者会見演習）		8		高島 哲夫 （防災科学技術研究所） 木戸 崇之 （エービーシー・リブラ） 辻岡 綾 （同志社大学）	
		9	全体討論	防災力アップのため、指揮統制について学んだことを、受講者のそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考える。	9			林 春男 （防災科学技術研究所）